



組立の目安
40分

ブースデスク T 字型 組立説明書

RFBD-BP/RFBD-TP



組み立て方やお手入れに困ったら
アールエフヤマカワ お客様相談室



部材一覧

※部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

①天板 ×2	②受け板 ×2	③側板 (小) ×2	④前板 ×2	⑤側板 (大) ×1
⑥ 十字穴付き J ねじ (小) ×20 (M6 × 12)	⑦ 十字穴付き J ねじ (大) ×4 (M6 × 25)	⑧ L 字金具 ×10	⑨ ジョイントシャフト ×16	⑩ ジョイントシャフトには下図の3種類 (1) ~ (3) がごありますが、全て互換性を有しており機能に違いはありません。
⑪ 化粧シール ×24				

重要

ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

1. ジョイントシャフトの取り付け

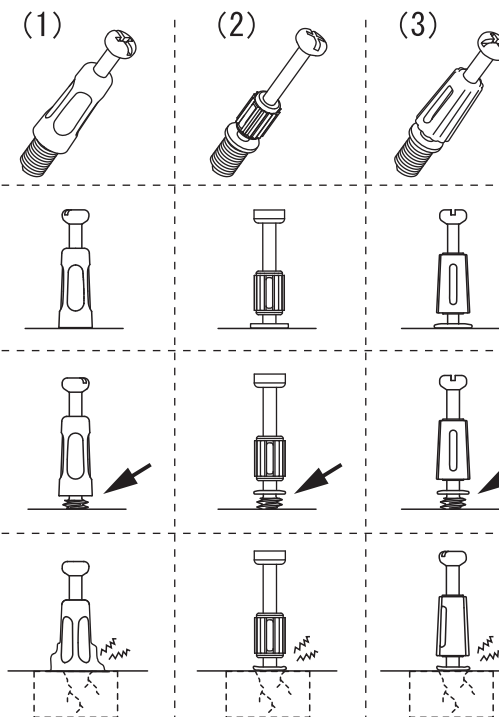
ジョイントシャフトを板面の埋め込み (鬼目) ナットに回し入れます。

商品に同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。

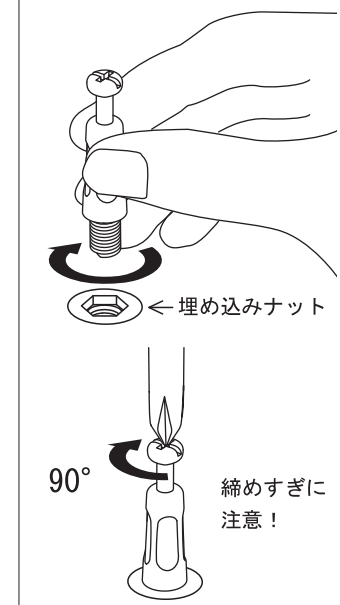
適切な取り付け
ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。

最後まで締まっていなかった抜けや歪みの原因となります。

締めすぎ
ジョイントシャフト や埋め込みナットが破損する恐れがあります。



手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。



2. ジョイントシャフトの挿入

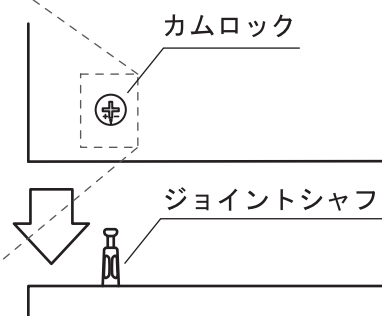
板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには＋又は▲矢印もしくはその両方が刻印されています。

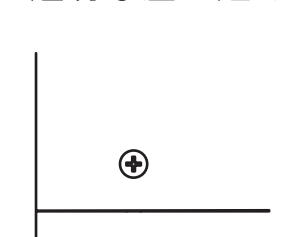


この印をジョイントシャフト側に向けて差し込んでください。

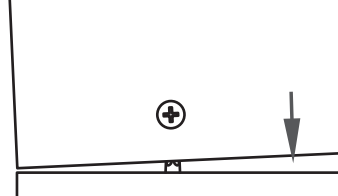
取り付ける板面を平行に持ち、垂直に真っ直ぐ差し込みます。



適切な差し込み

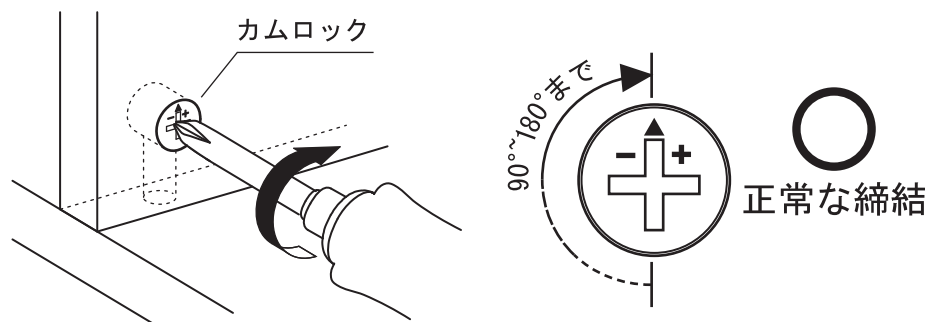


隙間が空いている
正常に固定できません。



3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

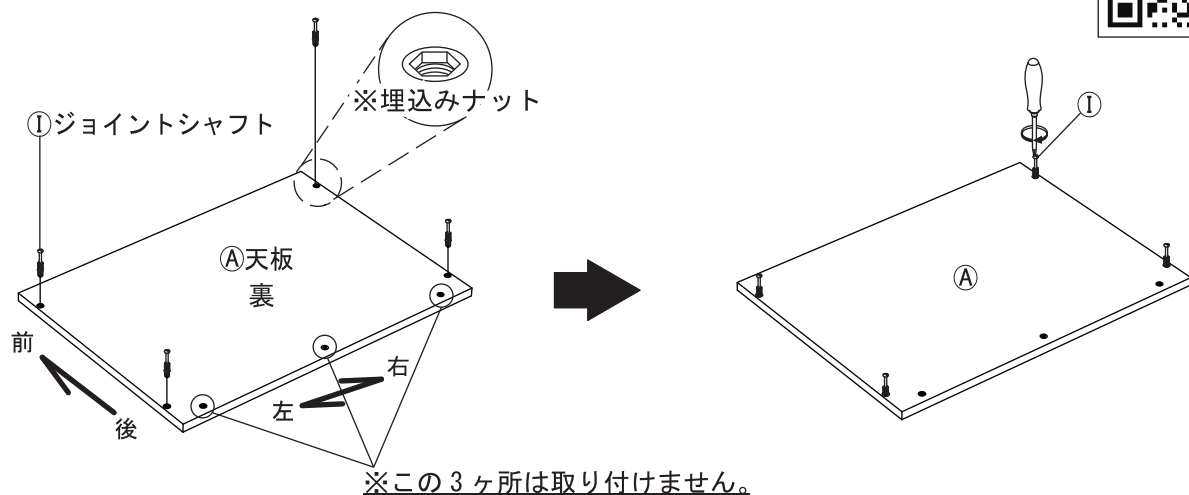
プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°~180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



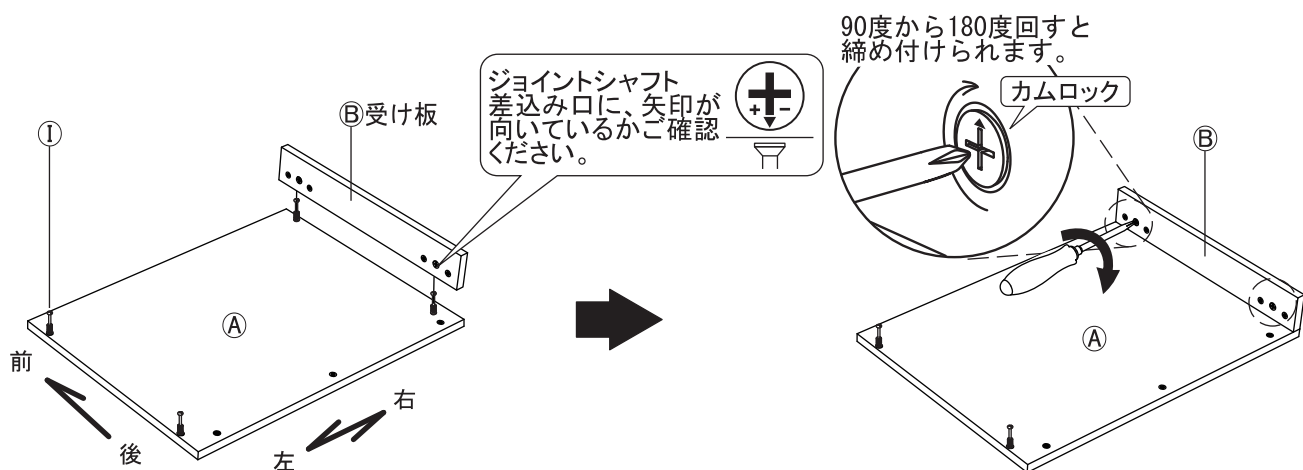
正常な締結

締めすぎ
無理に回すと破損の原因となります

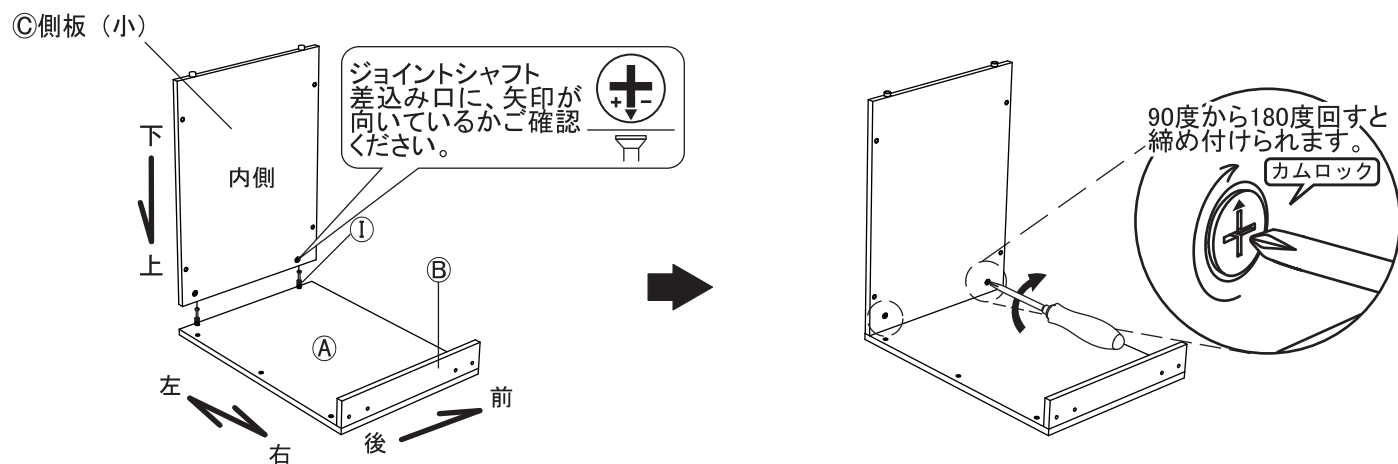
- 1 左側のブースデスクから組み立てます。
- ①天板の図の位置に①ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



- 2 ①天板右側の①ジョイントシャフトを②受け板の横穴に差し込んでください。
その後、②受け板のカムロックを締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。

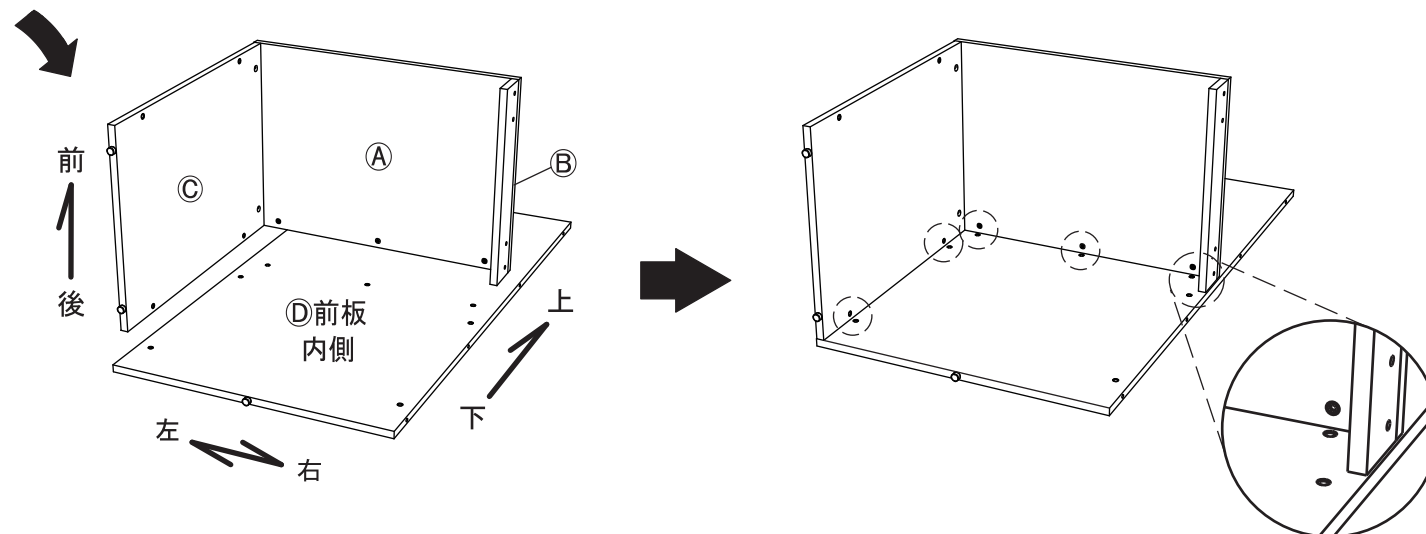


- 3 2で組み立てた①天板と②受け板に、③側板（小）を取り付けます。
①天板左側の①ジョイントシャフトを③側板（小）の横穴に差し込んでください。
その後、③側板（小）のカムロックを締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



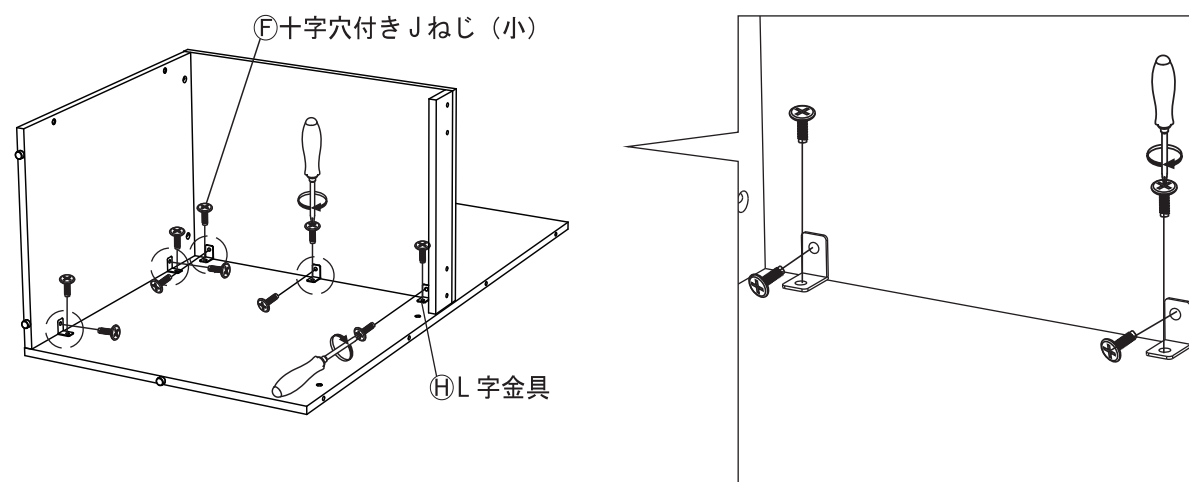
この工程では側板が安定しないため、側板破損の恐れがあります。
2人以上で慎重に作業を行ってください。

- 4 ④前板に、3で組み立てた①天板と②受け板、③側板（小）を取り付けます。
①②③と④の穴位置が隣り合うように2人以上で慎重に行ってください。

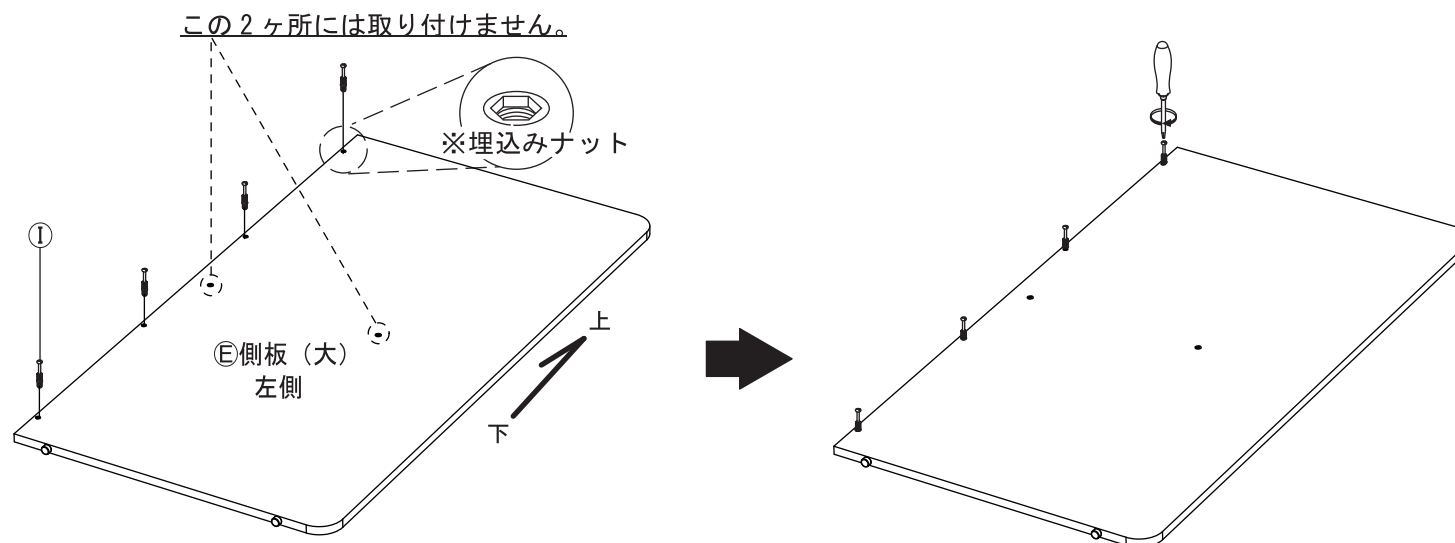


- 5 図の5ヶ所の位置に⑤L字金具を取り付けます。⑥十字穴付きJねじ（小）をプラスドライバーでしっかりと締め付けてください。

拡大図

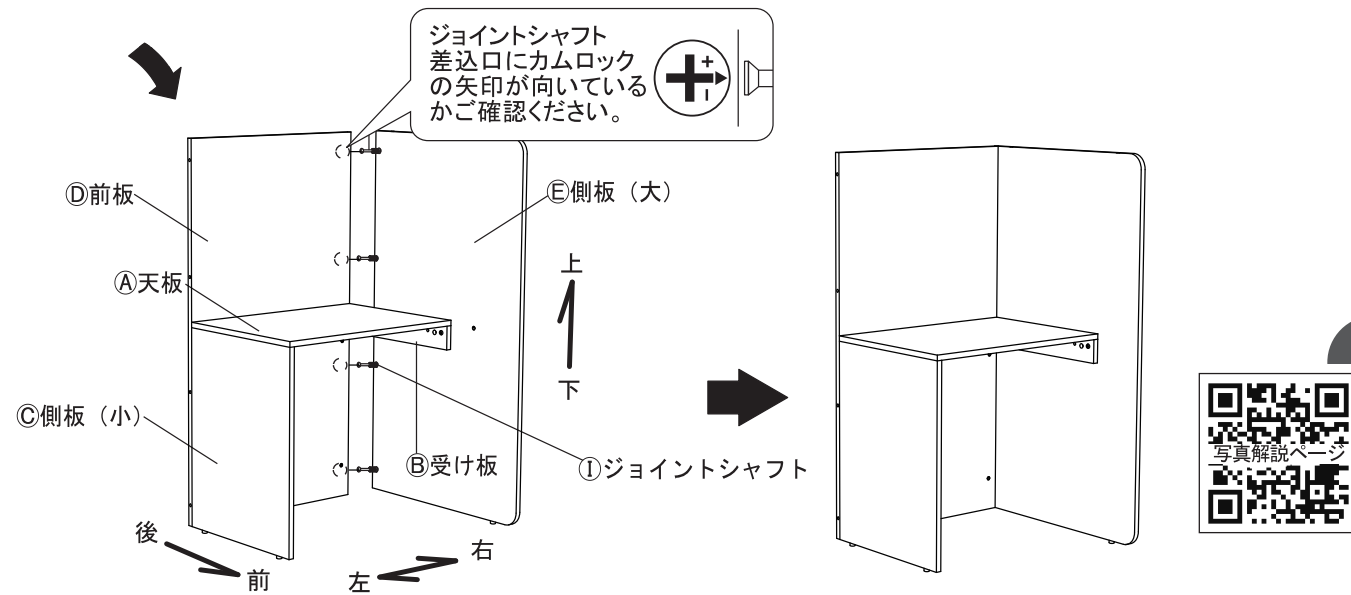


- 6 ⑥側板（大）の左側に①ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



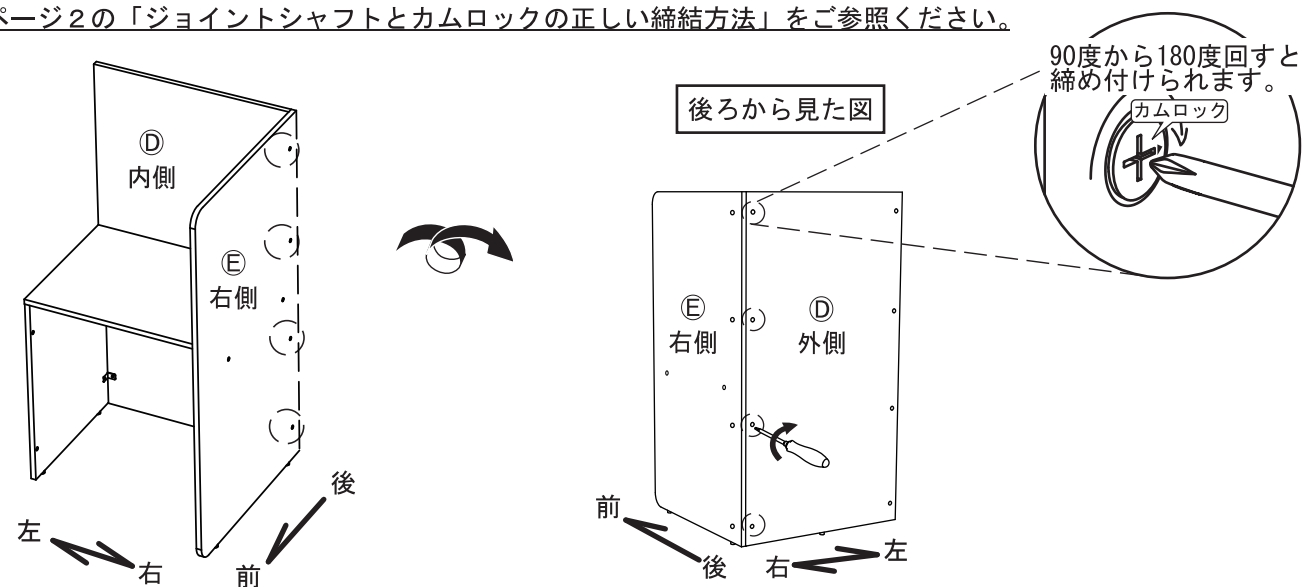
7

5で組み立てたA天板とB受け板、C側板（小）、D前板を2人以上で慎重に起こしてください。
D前板の穴位置に注意しながらE側板（大）の①ジョイントシャフトをD前板の横穴に差し込んでください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



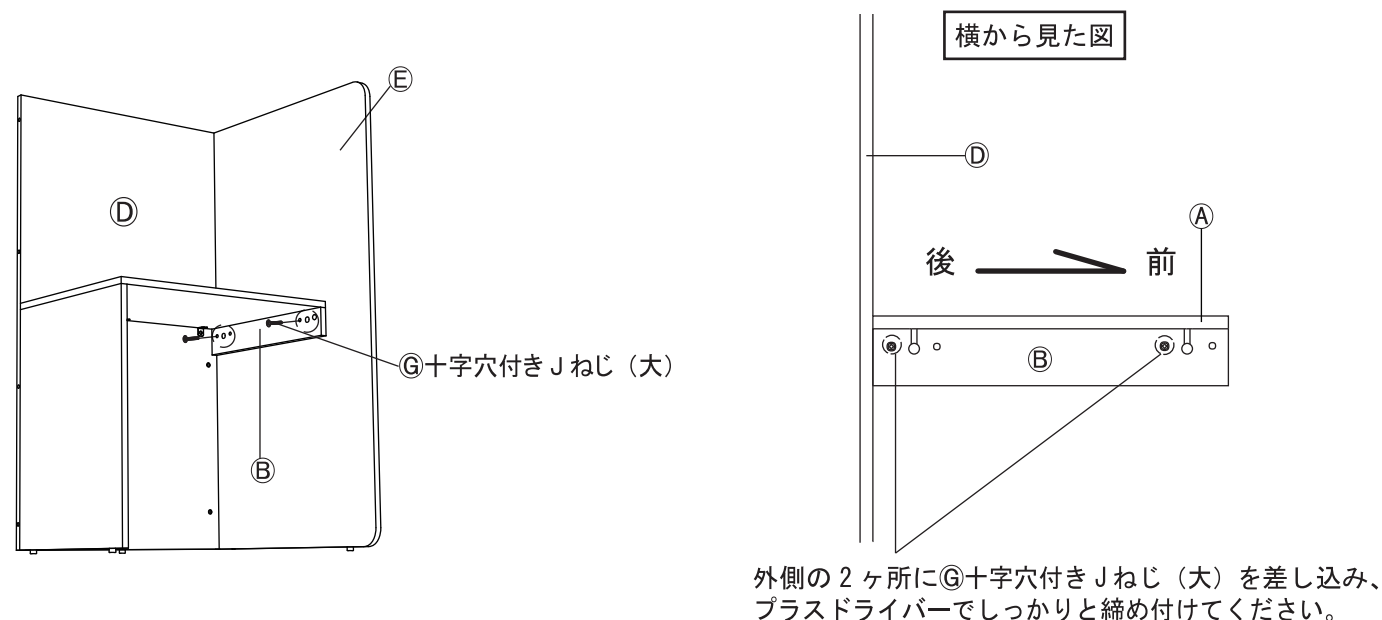
8

D前面パネルのカムロックを締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



9

B受け板をE側板（大）に固定します。G十字穴付きJねじ（大）を下図の位置に差し込み、プラスドライバーでしっかりと締め付けてください。

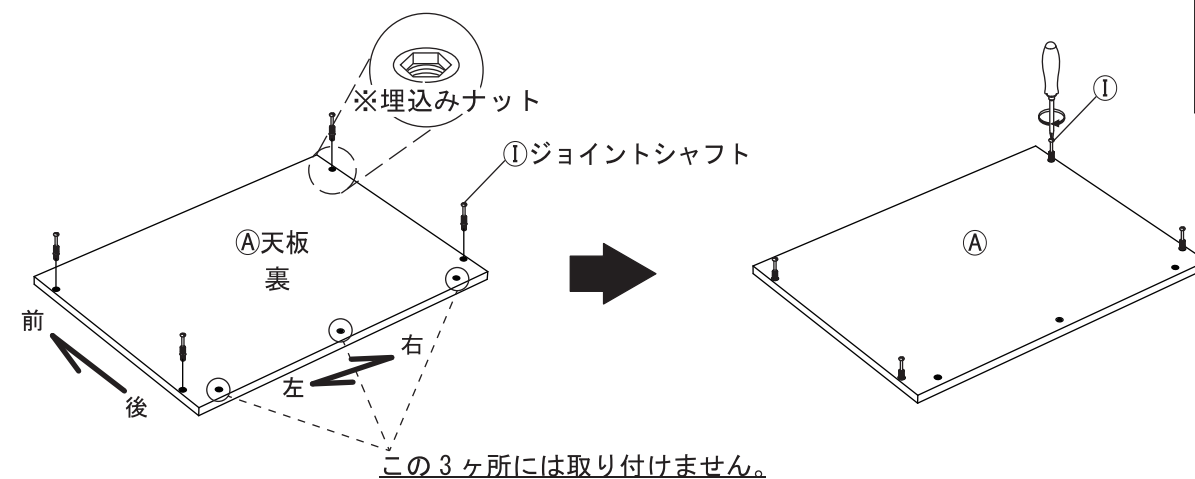


外側の2ヶ所にG十字穴付きJねじ（大）を差し込み、プラスドライバーでしっかりと締め付けてください。

10

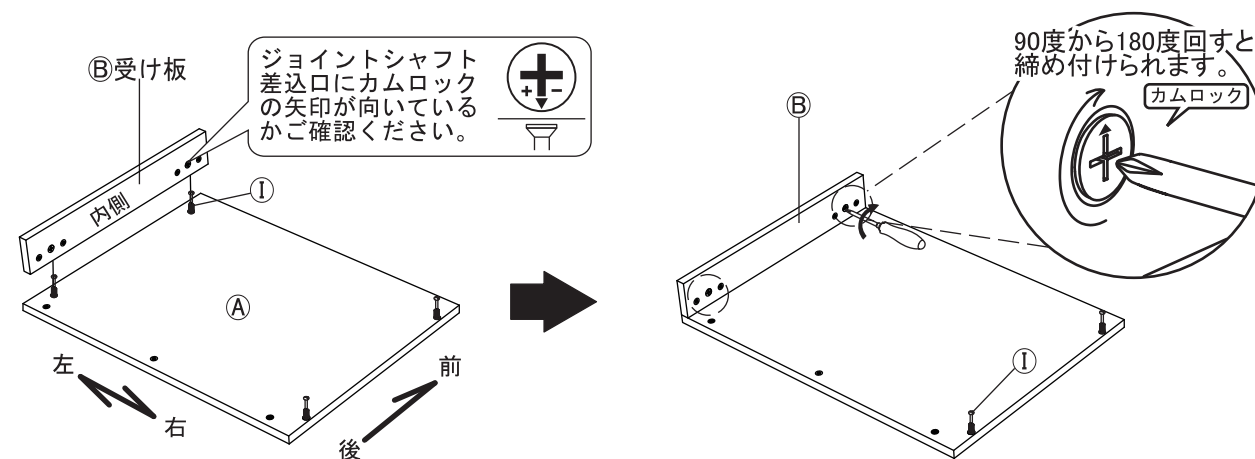
右側のブースデスクを組み立てます。

左側ブースデスクと同様に、右側のデスクを組み立てます。A天板の図の位置に①ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



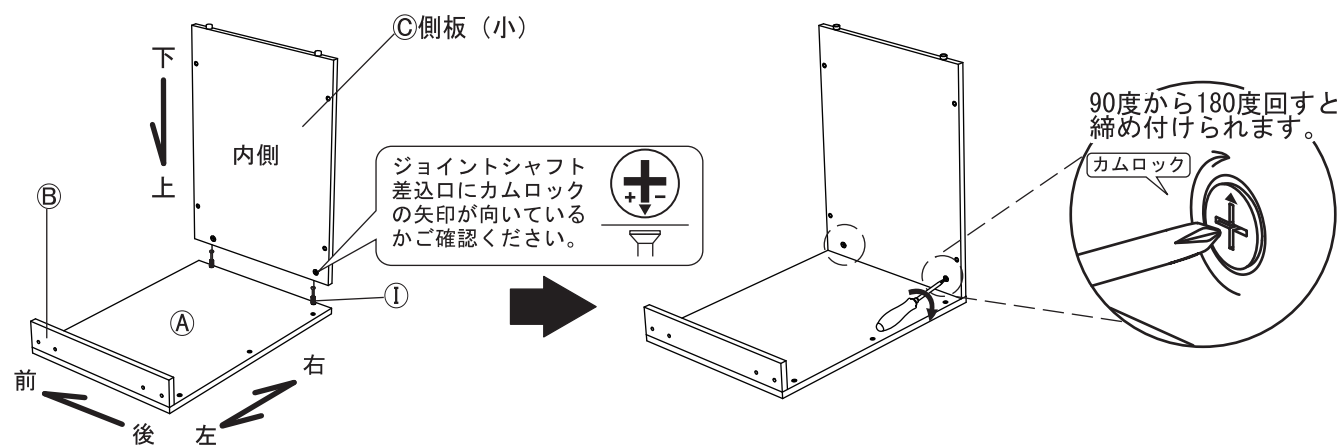
11

A天板左側の①ジョイントシャフトをB受け板の横穴に差し込んでください。
その後、B受け板のカムロックを締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



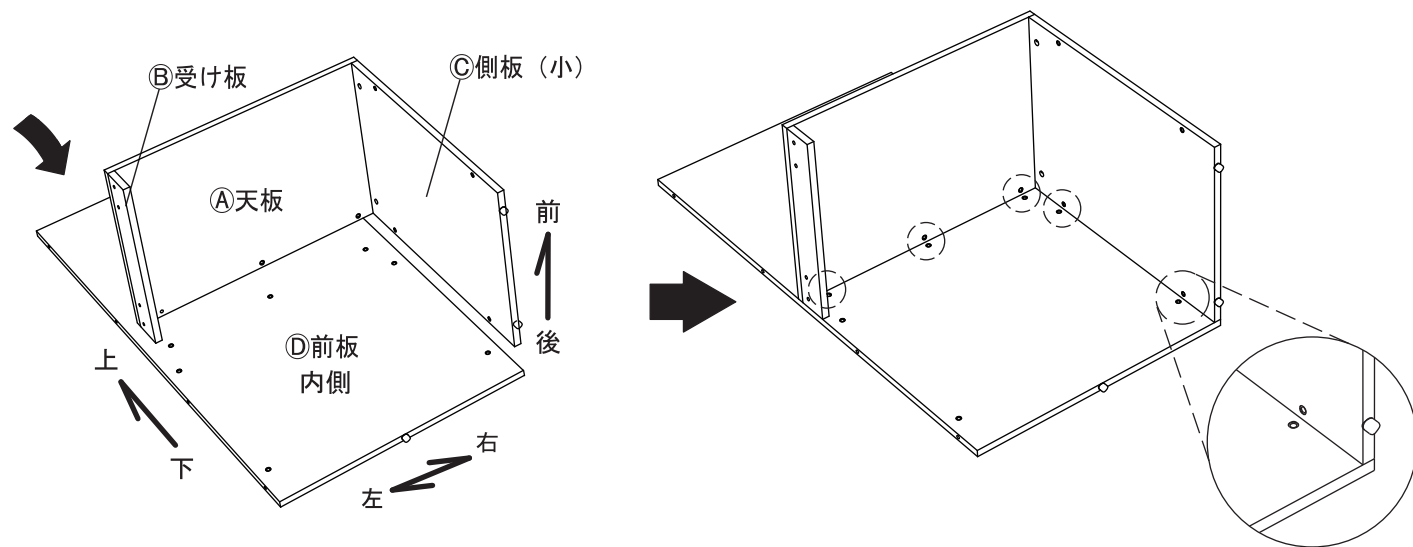
12

11で組み立てたA天板とB受け板に、C側板（小）を取り付けます。
A天板右側の①ジョイントシャフトをC側板（小）の横穴に差し込んでください。
その後、C側板（小）のカムロックを締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。

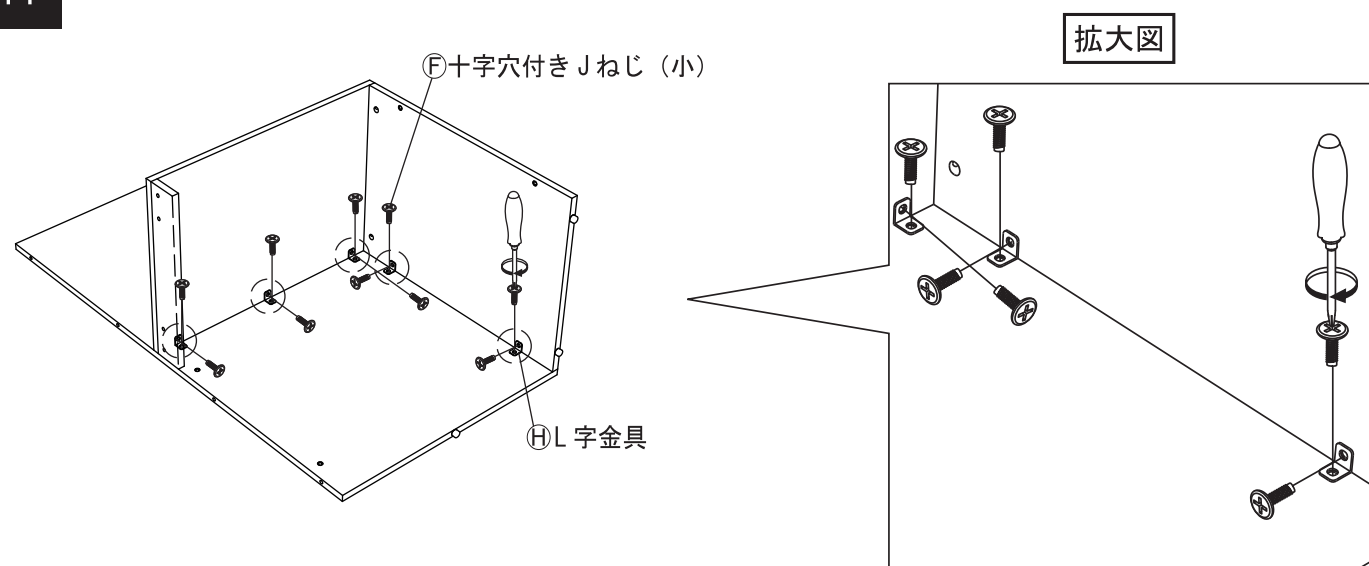


この工程では側板が安定しないため、破損の恐れがあります。
2人以上で慎重に作業を行ってください。

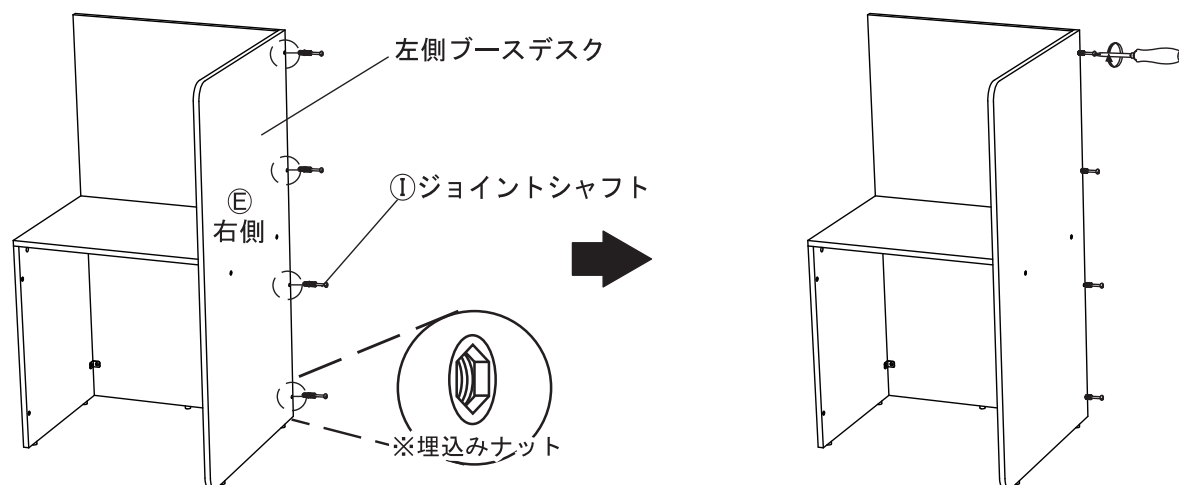
- 13 ①前板に、12で組み立てた①天板と②受け板、③側板（小）を取り付けます。
①②③と④の穴位置が隣り合うように2人以上で慎重に行ってください。



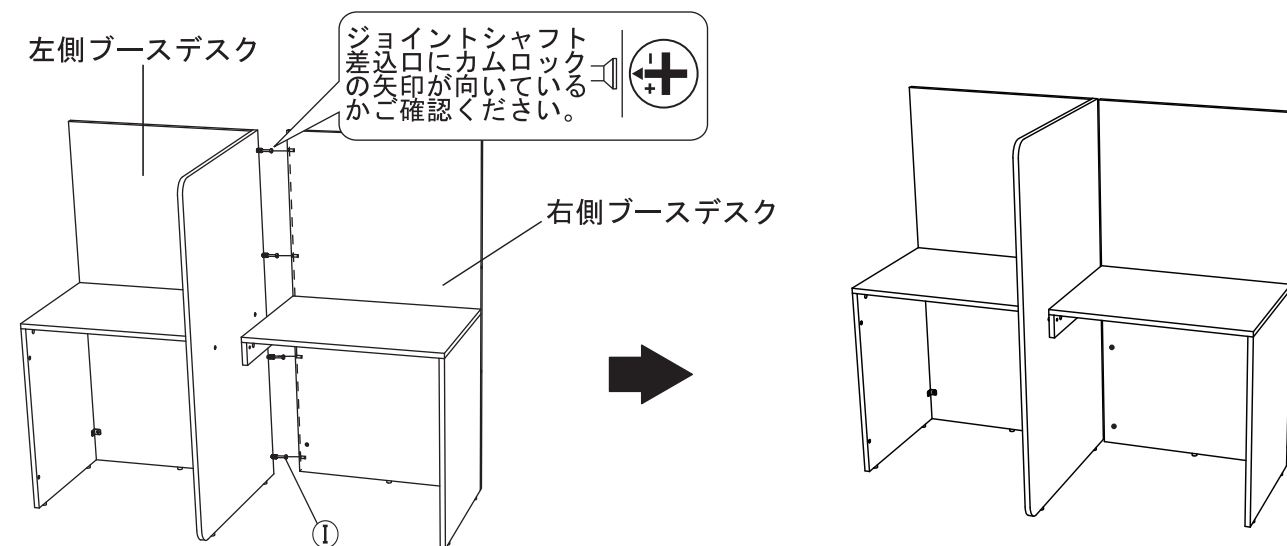
- 14 図の5ヶ所の位置に①L字金具を取り付けます。②十字穴付きJねじ（小）をプラスドライバーでしっかりと締め付けてください。



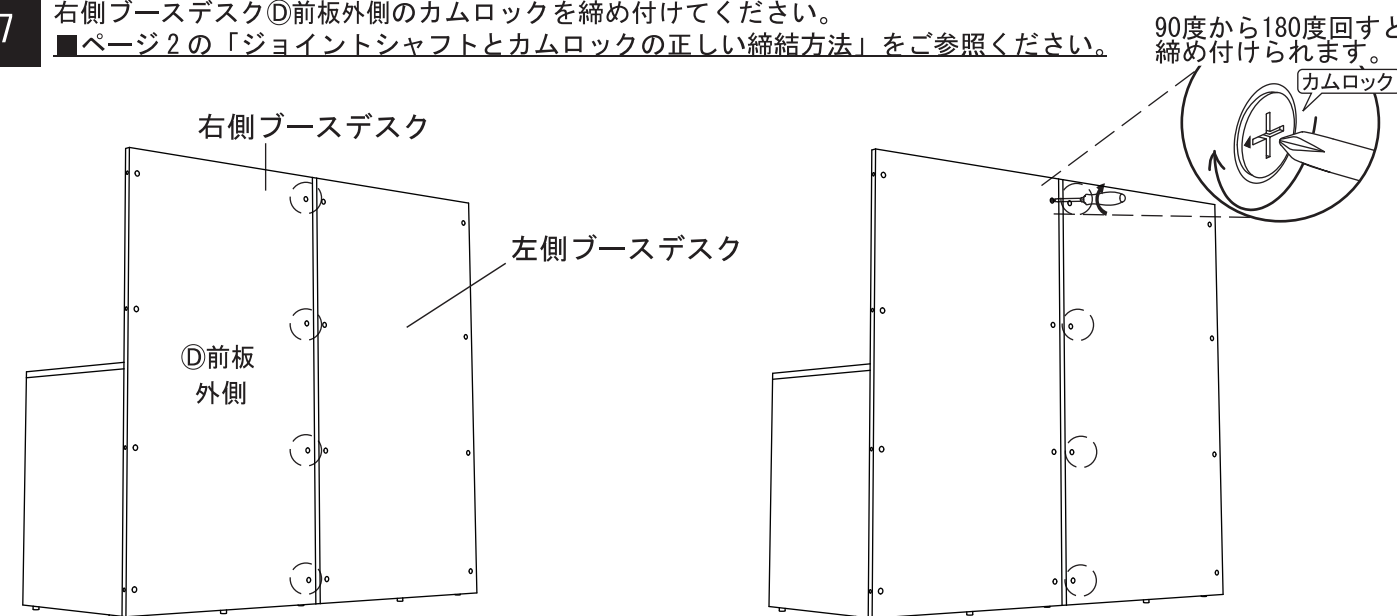
- 15 9で組み上げた左側ブースデスクに、14で組み上げた右側ブースデスクを組み付けます。
左側ブースデスクの図の位置に、①ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



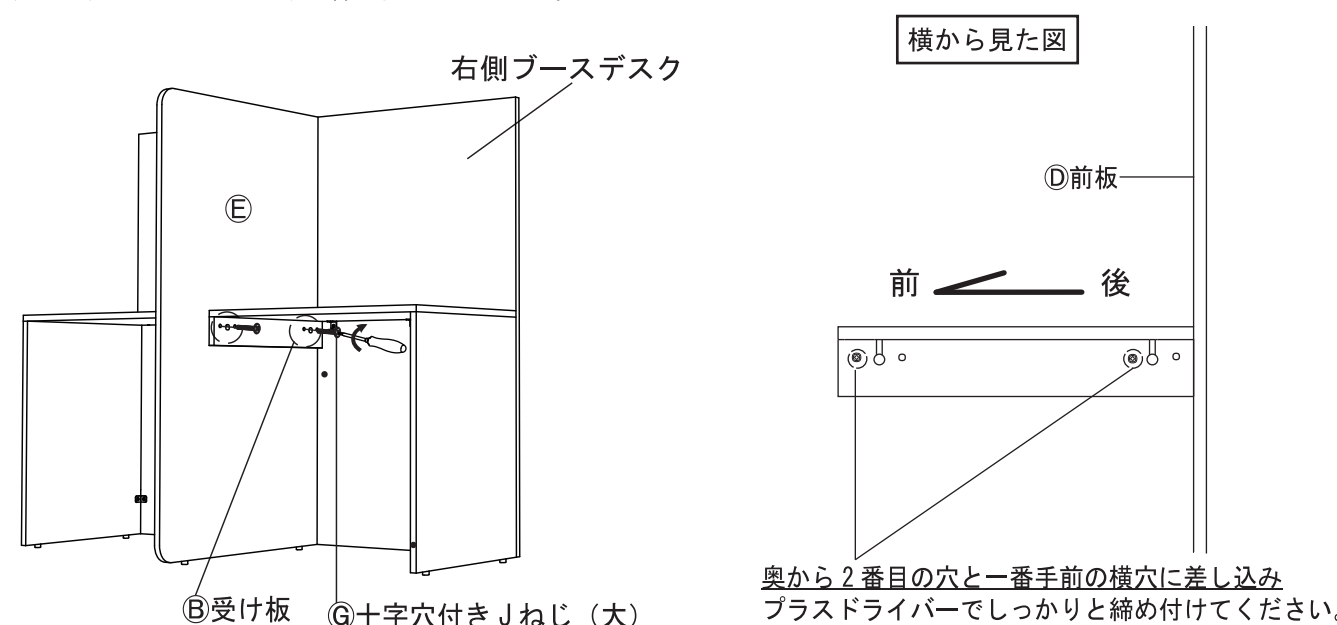
- 16 15の左側ブースデスクに、14で組み上げた右側ブースデスクを組み付けます。
穴位置に注意しながら、下図のように左側ブースデスクの①ジョイントシャフトをL字型ブースデスク（右側）の前板の穴に差し込んでください。
*必ず二人以上で作業を行ってください。



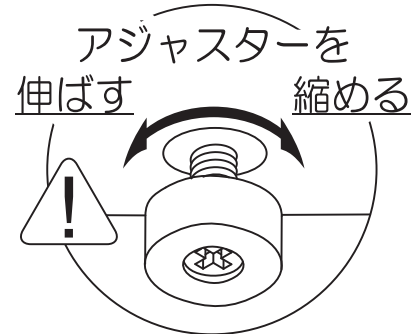
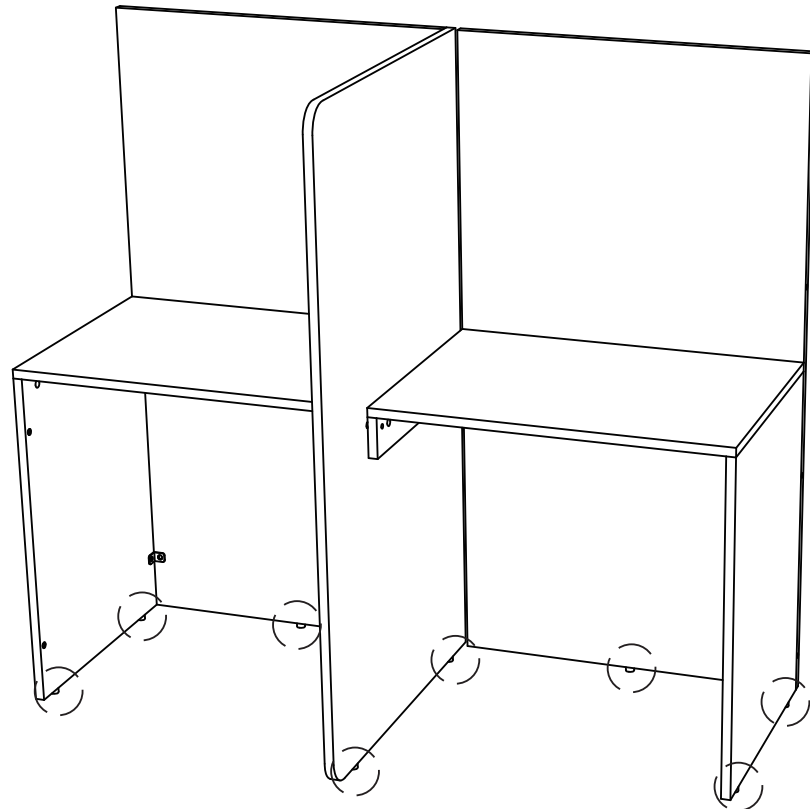
- 17 右側ブースデスク①前板外側のカムロックを締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法」をご参照ください。



- 18 ②受け板を③側板（大）に固定します。④十字穴付きJねじ（大）を下図の位置に差し込み、
プラスドライバーでしっかりと締め付けてください。



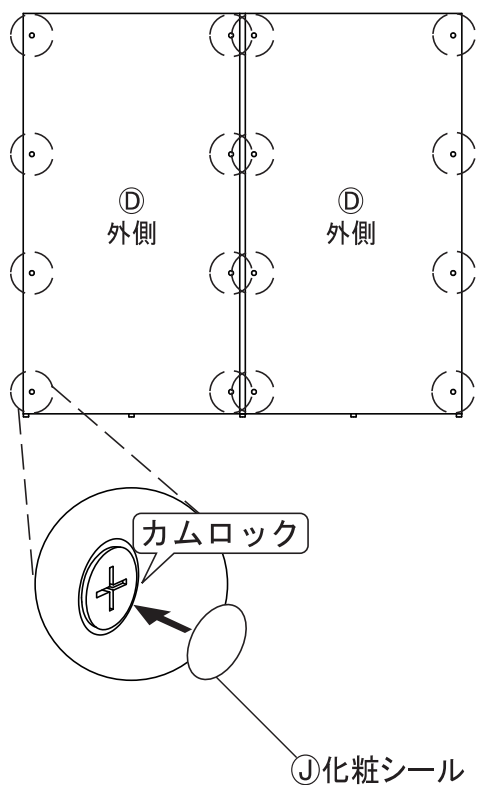
19 完成したブースデスクが床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



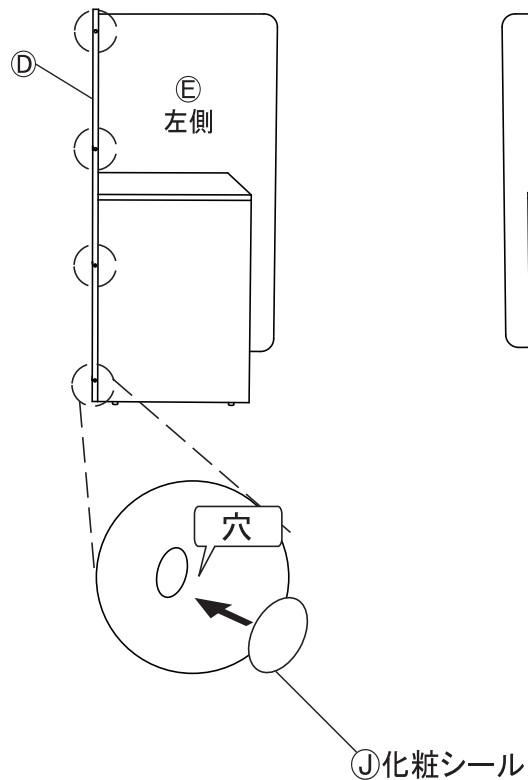
床に接地していないアジャスターを回して水平になるように調整し、がたつかないようにしてください。

20 ⑩前板の外側・⑪側板（大）の左右両側面の下図の位置に、⑪化粧シールを貼り付けます（全 24 ヶ所）。

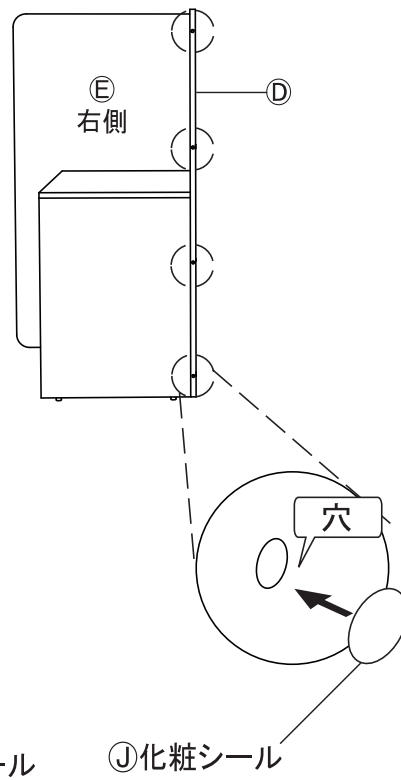
デスクを後ろから見た図



デスクを左側から見た図



デスクを右側から見た図



取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
またお読みになった後は、大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。破損の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する可能性があります。
- 商品を移動させる際には、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損する事があります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲水をこぼした場合は放置せずにすみやかに拭き取ってください。
- ▲子どもに操作移動をさせないでください。破損やケガをすることがあります。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。
- ◆シンナー、アルコール等の使用は避けてください。変色・変形や塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室



＜品質表示＞

外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
RFBD-BP, RFBD-TP	1418	700	1304

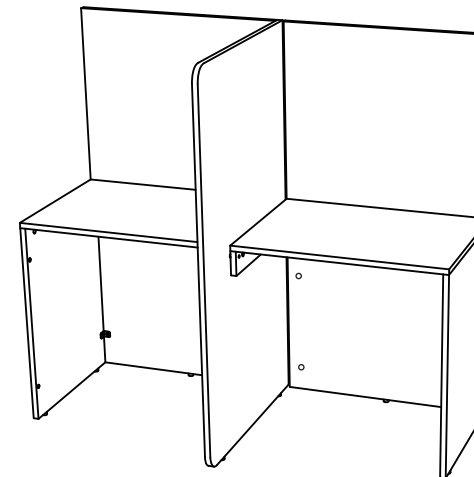
耐荷重	約 30kg (均等荷重)
材質	合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)
アジャスター	PP

アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208

商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身の製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。



☑ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- ☐ 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- ☐ 脚にガタつきはないか
…傾斜のない平らな場所に設置し、脚部取り付け用のねじがしっかりと締められているかご確認ください。
- ☐ 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日～金曜日(祝日を除く)
AM9:00～PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申込番号	
品名	ブースデスク T 字型
商品番号	RFBD-BP, RFBD-TP
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	